

2024年度 環境報告書



目次 1

1. 企業理念
2. 丸五ゴム工業株式会社 環境方針
3. 環境への取組みの沿革
4. 環境管理組織
5. 2024年の主な取組みの実績
6. カーボンニュートラル（CN）推進活動

目次 2

7.環境配慮活動事例

8.廃棄物削減及びリサイクル

9.おかやまプラスチック3R宣言事業所

10. 環境リスク予防活動

11. 従業員への啓蒙活動

12. 地域貢献活動

1.企業理念

1. お客様・仕入先様・従業員・地域社会に信頼していただける会社をめざし、仕事を通じて社会に貢献する。
2. 正々堂々と正道を歩むことを行動規範とする。
3. 独自性が高い製品開発とムダのないモノづくりを基盤に、進化・成長を続ける。

2.丸五ゴム工業株式会社 環境方針（2024年1月1日改訂）

基本理念

当社は、事業を通じて社会に貢献するという企業理念のもと、自動車用途を主とした工業用ゴム・樹脂製品を開発・製造・販売する企業として、カーボンニュートラル実現を目指し、温室効果ガスの排出削減などに取り組みることにより、持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムの監査を定期的を実施し、環境パフォーマンスを向上させるためにシステムの継続的改善を推進します。
2. 環境関連規制、条例、協定等を順守し、地域社会を大切にします。
3. 次の項目に主体的に取り組み、事業活動を通じて、省資源および省エネルギーに努め、地球温暖化防止と環境の保全を図ります。
 - ① 環境配慮製品の開発・製造・販売
 - ② VOC（揮発性有機化合物）の削減
 - ③ 廃棄物削減及びリサイクル
 - ④ 省エネルギー
 - ⑤ 物流の効率化
4. 環境方針を記載した『⑤手帳』を全従業員へ、『環境カード』を敷地内の供給者へ配布し、周知するとともに、適切な教育・研修により環境意識の向上を図ります。また、環境方針はホームページ等で開示するとともに、変化する環境課題に合わせて内容の見直し、改定を行います。

3.環境への取組みの沿革 2002年～2011年

- 2002年 6月 ISO14001認証取得
- 2006年 9月 岡山県より「岡山エコドライブ事業所」に認定
- 2008年10月 経済産業省が進める「CO₂試行排出量取引スキーム」に参加
- 2009年 8月 本社工場(現：倉敷事業所) 重油ボイラーから、CO₂発生量の少ない都市ガスボイラーに更新
- 8月 本社工場・矢掛工場(現：矢掛事業所)が岡山県より、「アースキーパーメンバーシップ会員」に登録
- 2010年10月 本社及び本社工場(現：倉敷事業所)・矢掛工場が、岡山県より、「岡山エコ事業所 ゼロエミッション事業所」に認定
- 2011年 8月 矢掛町と「丸五矢掛の森 森づくり協定」を締結

3.環境への取組みの沿革 2012年～2016年

- 2012年 7月 国内クレジット「矢掛町における太陽光発電事業」で
CO₂183 t を矢掛町より購入
- 2013年 6月 前年に引き続き、CO₂103 t を矢掛町より購入
- 2014年 2月 本社工場 出荷センター屋根に太陽光パネルを設置・稼働
4月 矢掛工場 樹脂工場屋根に太陽光パネルを設置・稼働
- 2016年 3月 本社及び本社工場・矢掛工場が
「岡山エコ事業所 ゼロエミッション事業所」認定更新
- 2016年 5月 伊勢志摩サミットカーボン・オフセットに参加 CO₂286 t 償却
11月 経済産業省・環境省・農林水産省より、
伊勢志摩サミット カーボン・オフセット感謝状を受領

3.環境への取組みの沿革 2017年～2024年

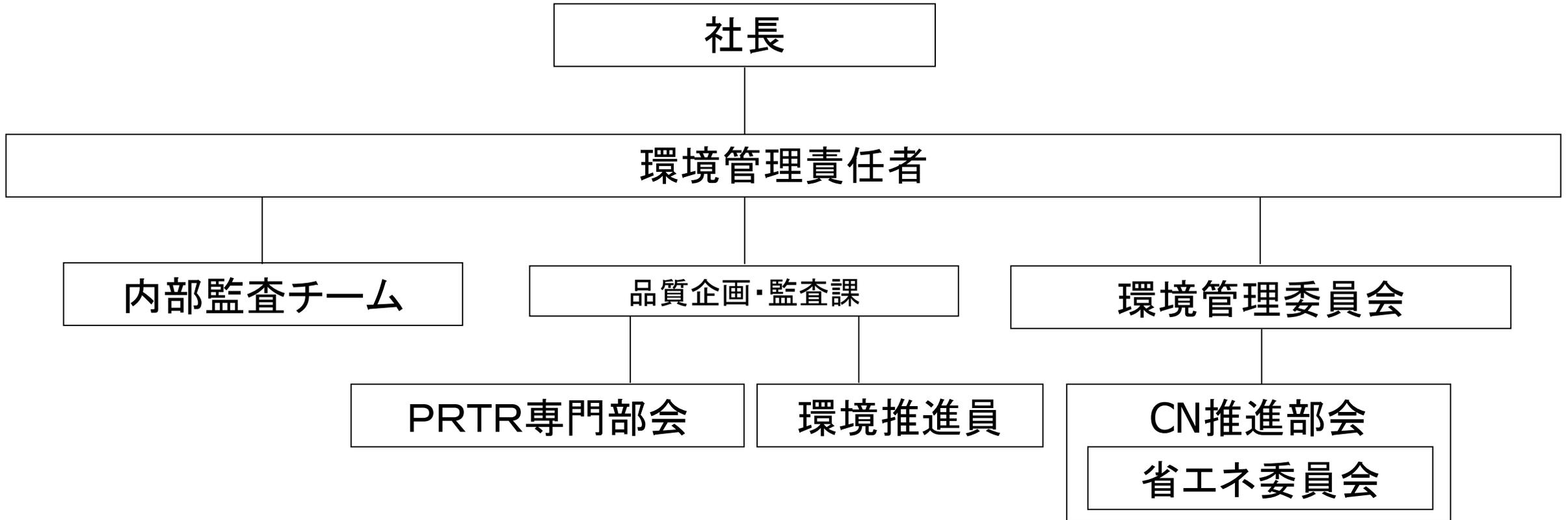
- 2017年 6月 環境省より「COOL CHOICE賛同証明書」を受領
- 2018年 3月 「丸五矢掛の森活動」が小学校5年生社会科副読本に掲載
- 2021年 1月 岡山県より本社及び本社工場・矢掛工場が「おかやまプラスチック3R宣言事業所」に登録
- 2021年 3月 岡山県より本社及び本社工場・矢掛工場が岡山エコ事業所「ゼロエミッション事業所」認定更新
- 2023年 2月 倉敷工場 太陽光PPA導入
- 2023年 3月 モリンガ環境プロジェクト入会
- 2023年 7月 CN（カーボンニュートラル）推進部会設置

3.環境への取組みの沿革 2017年～2024年

2023年 10月 矢掛江良工場 太陽光PPA導入

2024年 12月 岡山県より矢掛事業所が「**おかやまプラスチック3R宣言事業所**」の
【**優良取組事例**】として取材を受ける

4.環境管理組織



5.2024年の主な取組みの実績

(1) 廃棄物

項目	部門	目標	実績	達成度	今後の取組み
廃棄物削減	倉敷工場	原単位 190.0kg/百万円 以下	191.5 k g /百万円	×	金属類などの廃棄が増加傾向にあるため不良率の低減や再利用などで廃棄を減らしていきます。
	矢掛工場	原単位 147.0kg/百万円 以下	159.1kg/百万円	×	設備・金型・容器の廃棄が多かったことと、夏場の焼けゴム問題で未達となった。生ゴムおよび切代の廃棄を削減させ、廃棄ゴム削減に取り組む。
廃棄物 リサイクルの 推進	倉敷工場	発生廃棄物 リサイクル率 99%以上	100%	○	
	矢掛工場	発生廃棄物 リサイクル率 99%以上	99.8%	○	

5.2024年の主な取組みの実績

(2) 環境配慮製品、カーボンニュートラル省エネ

項目	部門	主な取組内容	達成度	今後の取組み
環境配慮製品の 開発	防振技術部	リサイクル、軽量化製品の開発	○	
	ホース技術部	リサイクル、軽量化製品の開発	○	
	新規事業開発部	リサイクル製品の開発	○	
カーボン ニュートラル 省エネ	全社	CO2排出量の削減	○	
	倉敷工場	電力・燃料使用量原単位削減	×	太陽光発電由来の電力購入 検討並びに、エア消費の効 率化、冬季暖房対策検討中。
		CO2排出量の削減	○	
	矢掛工場	電力・燃料使用量原単位削減	○	
CO2排出量の削減		○		

5.2024年の主な取組みの実績

(3) VOC削減、物流の効率化

項目	部門	主な取組内容	達成度	今後の取組み
VOC削減	倉敷工場	接着剤使用量原単位削減	○	
	矢掛工場	トルエン使用量原単位削減	○	
物流の効率化	倉敷工場 矢掛工場	製品輸送の効率化	○	

6.カーボンニュートラル（CN）推進活動

(1) 丸五ゴム工業『CN推進方針』について

“Marugo カーボンニュートラルチャレンジ”

～丸五ゴム工業は、「持続可能な社会」の実現に貢献します～

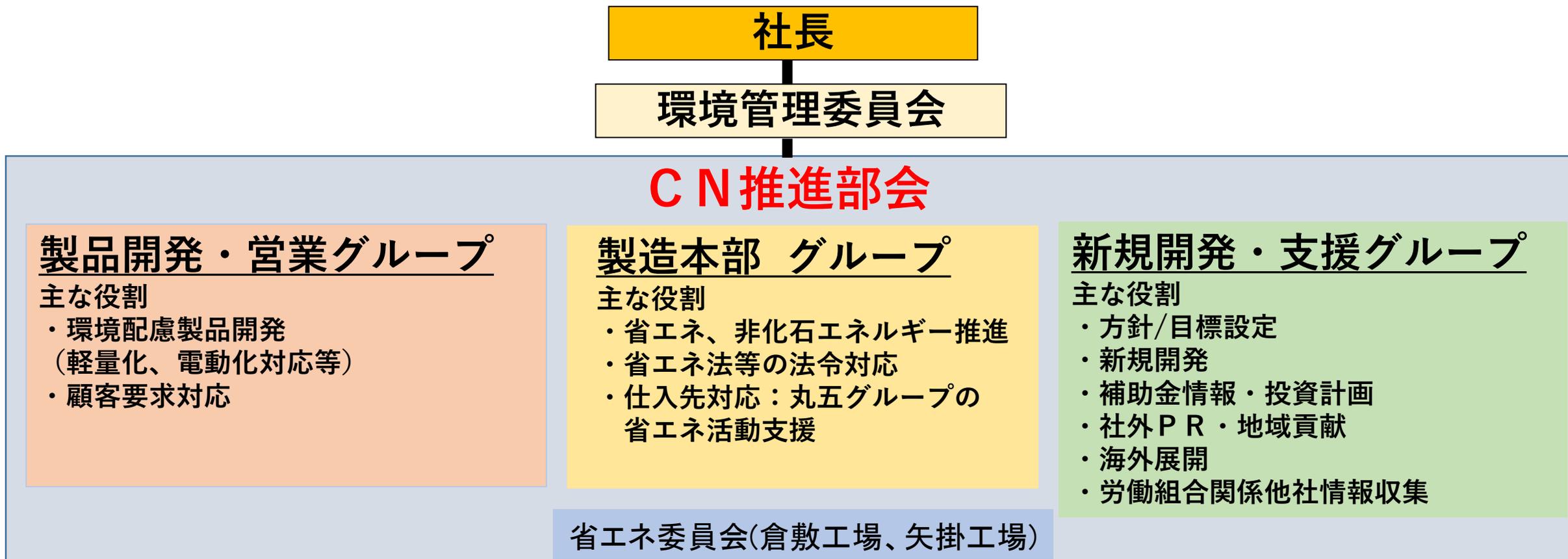
丸五ゴム工業は2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比マイナス46%の実現を目指します。これにあわせて、2030年の目標実現に向けたシナリオを想定し、当社として必要な対応と進むべき方向性を検討しました。その中で、2030年目標実現を目指すためカーボンニュートラル推進計画を策定しました。持続可能な社会の実現に向けて「温室効果ガス削減（主に脱炭素）促進」のために全社を挙げて取り組むテーマとして3つの挑戦を行います。

- ① 製品開発においては、温室効果ガス削減に向けて環境配慮製品の開発（軽量化、電動化対応等）、お客様のニーズに応じた最適な製品を積極的に投入していきます。
- ② 事業活動・生産活動においては、省エネルギー対策の強化・非化石エネルギーの利用拡大に取り組めます。
- ③ カーボンニュートラルを目指した新規事業の開発、海外拠点への取組みの拡大、そして環境保護することにより地域社会を大切にします。

6.カーボンニュートラル（CN）推進活動

(2) 「CN推進部会」の設置

国、顧客、業界団体などからカーボンニュートラルの取り組み要求があり、取り組みを推進するための全社組織として、社長のトップダウンの下、2023年7月環境管理委員会の下に「CN推進部会」を設置しました。



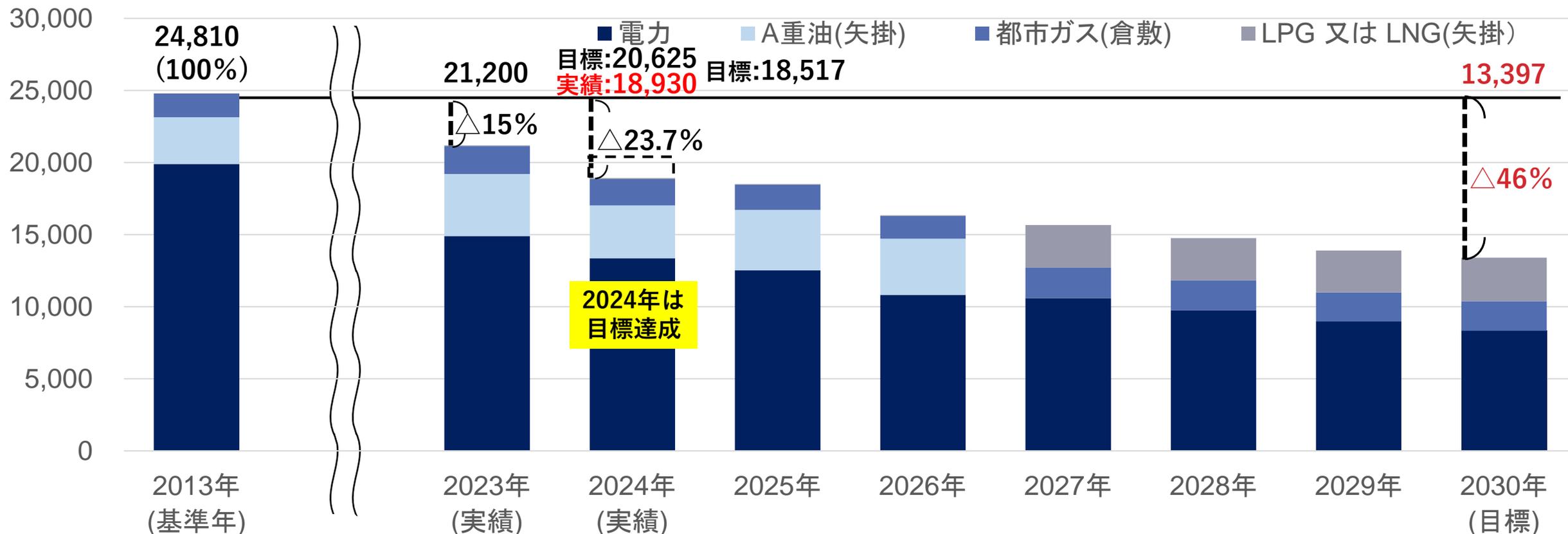


6.カーボンニュートラル (CN) 推進活動

(3) 当社のCO₂排出量目標 2030年までのロードマップ

単位：t-CO₂

【2030年までのCO₂排出量目標】



※基準年を100%として、基準年に対する削減率(△%)を表示しています

2025年は目標18,517t-CO₂以下に向けて取り組んでいます。

2030年に向けて、CN推進部会を中心に取り組んでいきます。

6.カーボンニュートラル（CN）推進活動



改善事例	実施事業所	CO2削減効果 (t -CO2)
蛍光灯 → LED照明への更新	倉敷・矢掛	72t - CO2
エアリークビューア活用によるエア漏れ修理活動	倉敷・矢掛	23t - CO2
トランス更新	倉敷	1.23t - CO2
変圧器更新	矢掛	3t - CO2
乾燥炉断熱塗装	倉敷	調査中
蒸気漏れ・保温材修理	矢掛	20t - CO2
廃蒸気熱交換器の更新	矢掛	10t - CO2
コンプレッサスケジュール運転による効率化	矢掛	17t - CO2



蛍光灯 → LED照明への更新



エアリークビューア活用による
エア漏れ修理活動

6.カーボンニュートラル（CN）推進活動



モリンガ植林(カーボンオフセット)

2024年度取り組み 鉢植えによる栽培10鉢実施
<CO₂吸収効果>
年約100 k g - CO₂吸収 × 10鉢 = 約1 t - CO₂吸収/年

モリンガとは？

- 👍 杉の木と比べ10倍以上のCO₂吸収力
- 👍 スーパーフードといわれるほど栄養価が高い
- 👍 インド原産

カーボンニュートラルのCO₂排出削減の取組みと併せて、CO₂吸収(カーボンオフセット)の観点で活動していきます。



7.環境配慮活動事例（環境配慮設計1）



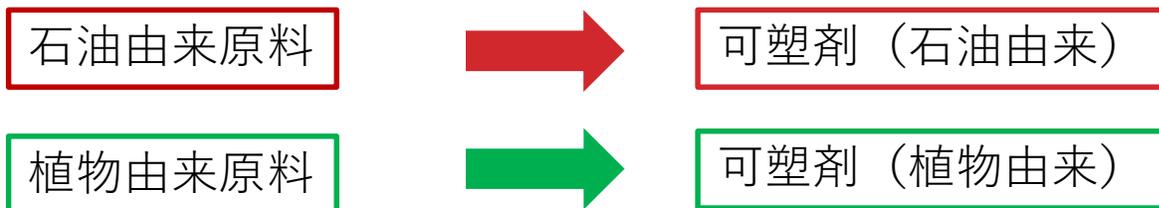
植物由来原料から製造されたバイオマス可塑剤への置き換えによるCO₂発生量の削減

○可塑剤とは

ゴムに柔軟性を与えるためや加工性を向上させるために添加するもの

○バイオマス可塑剤への置き換えの目的

一般的に可塑剤は石油由来原料から製造されるが、植物由来原料に置き換えることでCO₂発生量の削減が期待される。



○バイオマス可塑剤の評価結果

顧客要求の材料規格を満足することができた。

○課題

石油由来原料に比べて植物由来材料は高価。
⇒将来生産量が増えて価格が下がることに期待。



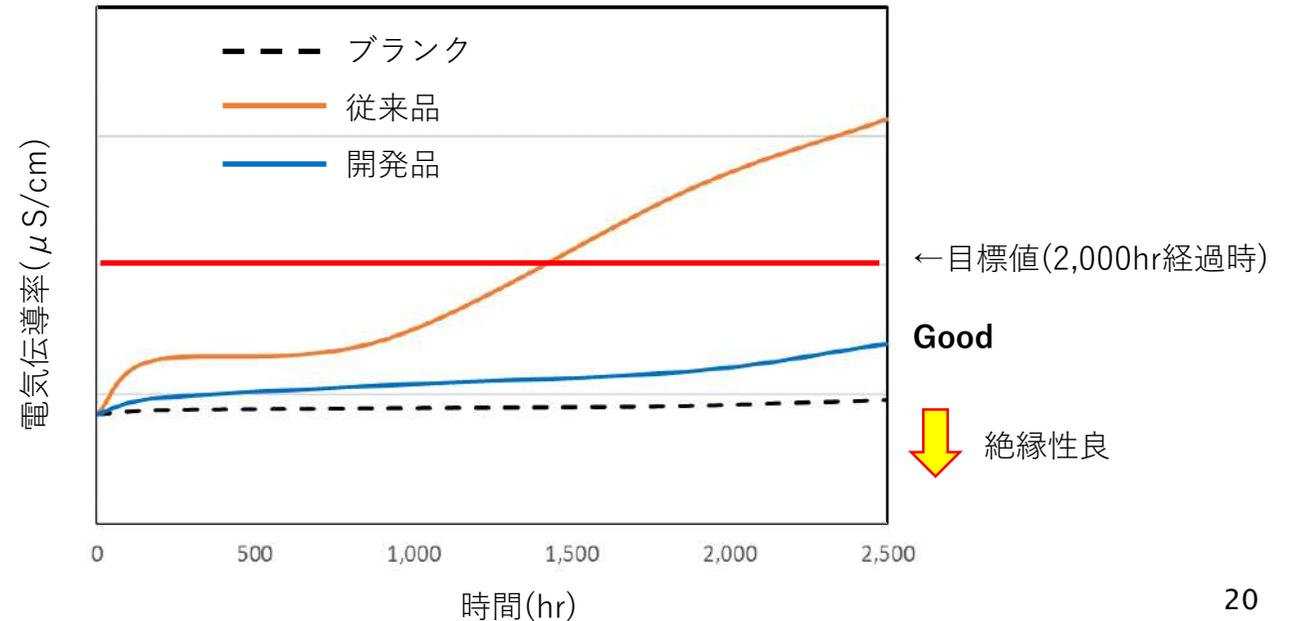
評価対象製品(ブーツ)

7.環境配慮活動事例（環境配慮設計2）

BEV（バッテリー電気自動車）向け冷却ゴムホースの開発



- BEV向け冷却ゴムホースとは
 バッテリーやモーターなどの電気システムの冷却に用いられるゴムホース。
 BEVではバッテリーの高電圧化に伴い、万が一冷却水が漏洩した場合を想定し、
 従来車よりも冷却水の絶縁要求が厳しくなっている。
 冷却水中にゴムホースより成分が溶出し絶縁性能が悪化しないよう、低溶出性を
 向上させたゴムホースを開発した。



7.環境配慮活動事例



丸五ゴム工業株式会社から環境やSDGsの課題解決に特化した100%出資会社株式会社FIVOR(ファイバー)を2025年4月3日に設立しました。



⑤r株式会社FIVOR 会社HPはこちら
<https://fivor.co.jp/>



7.環境配慮活動事例

ファイバー

⑤株式会社FIVOR

類似製品に比べて同じ電力で光量1.5倍を実現した
アクアポニックス栽培装置「TAMATE BOX」を
開発しました。



7.環境配慮活動事例



ファイバー 株式会社FIVOR SDGsにつながる外部活動ニュース

メディア

岡山の放送局 OHKテレビの環境情報番組「Re:SETO」にて、アクアポニックス事業および循環型サービスの取り組みが紹介

[【YouTube】サザエさんのエコ視察「オフィスで野菜収穫!?エコな家具」](#)

イベント

OI-Start主催の共創イベント「Match Up vol.3」に出展し、アクアポニックス技術と最新の取り組みを紹介。産学官連携の場で地域課題解決を目指します。

[「オープンイノベーションMatch Up vol.3」](#)

メディア

FNNプライムオンラインにて、弊社のアクアポニックス事業と循環型サービスの取り組みが紹介され、TAMATE BOXの現場運用の様子も取材されました。

[魚と植物を同時に育てる循環型システム「アクアポニックス」に熱い視線【岡山発】](#)

イベント

リコージャパン岡山支社主催「第17回SDGs講舎」で、株式会社FIVORとして新規事業と持続可能な事業戦略について講演しました。

[未来を創る！カードゲームで新規事業アイデア創造](#)

イベント

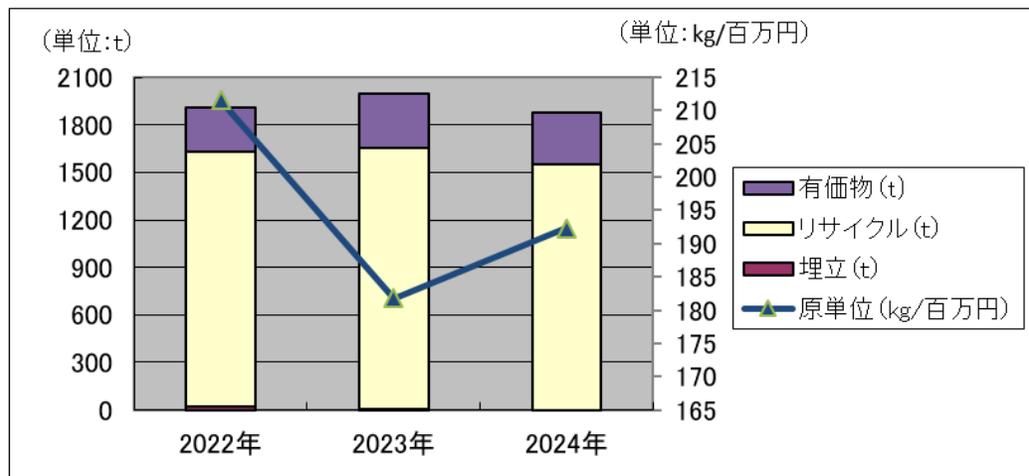
「おかやまSDGsフェア2025」に出展し、未来型栽培アクアポニックスを通じて命と水の大切さを体験・発信します。

[おかやまSDGsフェア2025](#)

8. 廃棄物削減及びリサイクル

(1) 廃棄物発生量と原単位の推移

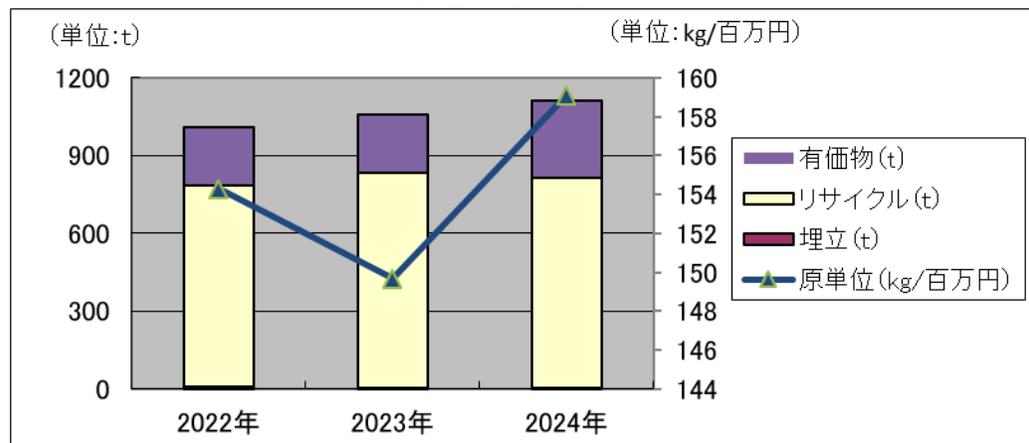
倉敷事業所



金属類などの廃棄物が増加傾向にあり、あと少しの所で未達となった。不良率の低減や再利用などを行い削減に取り組みます。

2025年度は5月末累計で188.2kg/百万円と順調に推移しています。

矢掛事業所



設備・金型・容器の廃棄が多かったことと夏場の焼けゴム問題で未達となりました。生ゴムおよび切代の廃棄を削減させ、廃棄ゴム削減に取り組みます。



8. 廃棄物削減及びリサイクル

(2) 倉敷事業所



工場内排水処理汚泥の削減

排水処理設備に向かう配管に磁気活水装置を取り付け、活性炭、消石灰の使用量の削減と廃棄汚泥の削減

年間廃棄物削減効果：廃棄汚泥(△約30%)△36t

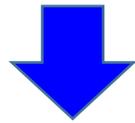


8. 廃棄物削減及びリサイクル

(3) 矢掛事業所



製品容器が破損した場合、不要になった容器を処分する場合
金具などが付いている場合、金具を取り外す必要があり
担当者がおらず廃棄物として処分していた。



金具が付いたままで、リサイクル可能な業者を探し
有価物としての引取が可能かどうかについて調整した結果、
2024年4月～有価物として引取委託中。



年間廃棄物削減効果：△18.5t

9.おかやまプラスチック3R宣言事業所

(1) 宣言内容

丸五ゴムは、2021年から「2」「3」「5」の3点について、取組みを行っています。

 **宣言内容一覧** [取組む内容を1つ以上選択してください] ※FAX送付の際はこのチェックボックスに☑チェックをしてください。

<input type="checkbox"/> 1	従業員がマイボトル等を積極的に利用し、プラスチック製品の使用を削減します		
<input checked="" type="checkbox"/> 2	事務所等で使うプラスチック製品の調達は長く使えるものを選びます		
<input checked="" type="checkbox"/> 3	事務所等で使うプラスチック製品の調達はリサイクル製品を選びます		
<input type="checkbox"/> 4	従業員やお客様のプラスチックごみは、分別や洗浄し、リサイクルを徹底します		
<input checked="" type="checkbox"/> 5	製造工程で出たプラスチックの端材や不良品のリサイクルを行います		
<input type="checkbox"/> 6	プラスチック製品の材料を紙などの代替素材又は、生分解性の材料に変更します		
<input type="checkbox"/> 7	プラスチック製の梱包材やプラスチック製容器包装を減らします		
<input type="checkbox"/> 8	お客様にマイバッグの積極的な利用を呼び掛けます		
<input type="checkbox"/> 9	ストローなどの使い捨てプラスチックの利用・提供を減らします		
<input type="checkbox"/> 10	レジ袋有料化等により得られた収益金を環境活動等の支援のために寄附します		
<input type="checkbox"/> 11	海に流出するごみを減らすため、ごみ拾いを実践します		
New!	<input checked="" type="checkbox"/> 12	お客様のマイボトル、マイ容器に対応します	
	<input type="checkbox"/> 13	_____	

(その他・自由記載)

9.おかやまプラスチック3R宣言事業所

(2) 矢掛事業所 岡山県から【優良取組事例】として取材を受けました。

2024年12月に岡山県からプラスチック廃棄物3R活動の取材があり、右のパネルが完成しました。

「おかやまプラスチック3R宣言事業所」の【優良取組事例】の紹介パネルとして岡山県のイベントで当社の取組みが宣伝されています。



当日の取材の様子



2月16日 コンベックス岡山「海ごみ・プラごみ削減フォーラム」の岡山県のブースで宣伝されました。²⁸

9.おかやまプラスチック3R宣言事業所

(3) 環境に配慮したプラスチック製品の購入について

丸五ゴムでは再生品やエコマーク等、環境に配慮したプラスチック製品の購入に努めています。

<環境配慮への取組み>



区分	調達品目	単位	購入数 (A)	環境配慮購入数 (B)	環境配慮調達率(%) (B/A)
文具類	ペン類	本	1,104	1,104	100%

・文具類取組例

蛍光ペンなどは**エコマーク**の付いたものや、**カートリッジ式**のものを購入し、中身を交換しながら使用することで、廃棄物を減らすように取り組んでいます。





9.おかやまプラスチック3R宣言事業所

プラスチック資源循環促進法

(4) プラスチック使用製品産業廃棄物

プラスチック使用製品産業廃棄物の排出量
2024年4月～2025年3月

単位：t

事業所	2024年度
倉敷事業所	6.0
矢掛事業所	3.9
合計	9.9

矢掛事業所では上記以外の大半を占めるプラスチック使用製品産業廃棄物や端材は、社内で再利用したり、有価物として売却しています。

9. おかやまプラスチック3R宣言事業所

(5) プラスチック使用製品産業廃棄物のリサイクル例 (矢掛事業所)



写真：破碎したチップ

不良品や製造段階での端材を細かく碎いて、
社内で製品の**原材料として再利用**しています。

10.環境リスク予防活動 緊急時排水訓練を実施しました



倉敷事業所での訓練の様子



矢掛事業所での訓練の様子

一般排水経路に工程排水が流れてしまった場合を想定して、排水経路の遮断や、外部への流出を防止するための訓練を実施しました。

10.環境リスク予防活動 環境関係法令順守対応

コンプライアンスの一環として、環境関係の法令順守について下記のような対応を行っております。

1.法令順守確認 年1回

- ・社内規定に基づき、該当全部署法令を順守しているかどうかの定期順守確認
- ・内部監査での確認
- ・グループ会社の順守状況確認

いずれも、問題があった場合には是正処置を行っております。

2. 環境法令教育

- ・法令担当者社外研修：公害防止管理者リフレッシュ研修、廃棄物実務者研修（毎年）
- ・社内実務者研修：環境特別教育（廃棄物、CO2・省エネ）



環境特別教育の様子

11. 従業員への啓蒙活動

1. 環境集会 毎年 4 月
環境管理責任者による従業員への環境講話

2. 環境推進キャンペーン 毎年 5 ~ 6 月



環境集会の様子

⑤ 丸五ゴム工業株式会社

ビルドアップ 丸五!!

みなさんに心がけてほしいこと

◎みなさんが環境で取組む内容として、身近なところで具体的には・・・

- ・生産性の一層の向上＝効率を上げる...省エネルギー、コスト削減
- ・節電、省資源＝省エネルギー等...不要な照明を切る、電源を切っておいても問題ない
機器・設備の電源を切る(特に夜間)、長時間籍を立つ場合PCモニターの電源を落とす
- ・廃棄物削減への取組み強化...省資源、コスト削減
- ・3R推進...リデュース(ゴミ・廃棄物削減)、リユース(再利用)、リサイクル(ゴミ・廃棄物再生利用)
- ・環境事故の予防...油漏れや排水トラブルにつながるリスク低減(予防保全)
- ・住民苦情の予防...夜間の騒音に気を付ける
- ・会社取組への協力 ...などなどです。

会社としての活動強化に加え、皆さん一人一人の意識向上、活動への参画が必要です。ご協力をお願いいたします。

環境講話の一部

12.地域貢献活動

(1) 住民苦情発生件数

	2022年	2023年	2024年
騒音	5	4	2
排水	0	0	0
臭気	1	0	0
光害	0	1	0
計	6	5	2

住民苦情発生時には迅速に社内へ情報展開し、対応しております。

12.地域貢献活動（騒音測定実施）

（1）住民苦情には真摯に対応します。



倉敷事業所の東西南北6か所で年1回
昼間・夜間の騒音測定を実施しています。

2024年は全測定地点で法規制値内でした。
今年も年1回 騒音測定を実施して参ります。

図：倉敷事業所敷地境界測定結果

12.地域貢献活動（地域清掃活動）

(3) 地域清掃活動に積極的に参加しています。



児島湖流域清掃大作戦

主催：児島湖流域環境保全対策推進協議会



流域クリーン一斉行動

主催：高梁川流域連盟